キャラクター名
朽木　結（くちき　ゆい）

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	支部長代理
オプショナル		年齢	23	性別	女
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	親の理解	経験	技術畑	邂逅	腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	0	1	1			2
精神	6	0	0			6
社会	2	0	0			2

HP	28
行動値	16
(非装備時)	16
戦闘移動	21
全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	7	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
「インテリジェントアイ」	交渉	2r				侵蝕率+7。対象3体、ダイス+7個、C値-1
↑（100%～）		0				↑のデータをダイス+8個に変更

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
コネ：手配師	
デモンズシード	
エンブレム：リマインドソウル	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：触媒	P	N		
幼馴染：ヴァルバトーゼ・ツェペシュ	P 純愛	N 食傷		
手がかかる子：平山　朔月	P 尽力	N 不安		
PC間ロイス：折田　凛	P 信頼	N 恐怖		
情報提供者：グレイ	P 同情	N 食傷		
仇は取る：霧下支部の支部員たち	P 遺志	N 悔悟		
うちの新入り：アワリティア	P 慈愛	N 食傷		

最大財産P: 38	残り財産P： 35

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
天性のひらめき	2	4	メジャー	-	-	-	-	
効果：	あらゆる判定のC値-LV(下限値7)、戦闘では使用できない							
インスピレーション	1	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	GMに直接質問できる、シナリオLV回							
アドヴァイス	7	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果：	対象の次のメジャーのC値-1、ダイス+LV個							
戦場の魔術師	3	3	メジャー	-	3体	自動	リミット	
効果：	↑と組み合わせて使用、対象を3体に変更。シナリオ[LV+1]回							
常勝の天才	8	7	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	ピュア	
効果：	ラウンドの間、対象の攻撃力+[LV×4]、シーン1回							
ファンアウト	2	4	セットアップ	至近	範囲（選択）	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う。自身は選択不可、シナリオLV回							
灰色の脳細胞	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	行動値+【精神】、初期侵蝕率+2							
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100%	
効果：	判定の直後に使用、達成値+【LV×3】							
ブリッツクリーク	1	4D10	イニシアチブ	視界	単体	自動	120%	
効果：	対象はメインプロセスを行う、シナリオ1回							
ブラックマーケット	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	常備化ポイント+[LV×20]、初期侵蝕率+2							
写真記憶	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	目にしたものを細部まで記憶する。必要な時は<知覚>で判定							
効果：								
効果：								

父親がUGNの研究員という家庭に生まれ、オーヴァードに覚醒する前からその存在を認知していた。幼少期、既にオーヴァードだったヴァルバトーゼ・ツェペシュから吸血された際に彼のレネゲイドウィルスが感染する形で自身もオーヴァードとして覚醒する。その後は発症したシンドロームがノイマンだったこともありイリーガルとして父の元で技術職として協力しながら一般の4年生大学に通っていたが、1年前の大学卒業と同時に自らヴァルバトーゼが支部長を務めるUGN霧下支部への転属を志願、UGNエージェントとなり支部へ配属された。

彼女のレネゲイドは触媒と呼ばれる他者のレネゲイドを制御・あるいは活性化させる特殊なものであり、支部長であるヴァルバトーゼの吸血衝動と能力制御のため定期的に自身の血液を彼に提供している。ヴァルバトーゼとは幼馴染でありプライベートでは「ヴァル」と呼ぶ仲だが、わりと男勝りな自身の性格と付き合いが長いことからくる遠慮のなさが合わさり一応立場上は上司にも関わらず割と扱いはぞんざいになってしまっている。

元々技術職の手伝いをしていたこともあり自身は最低限の戦闘訓練しか受けてないため戦闘力は低いが、ノイマンとしての頭脳を生かした指揮・支援能力と情報収集で力を発揮する。また触媒としての力を使い他者のレネゲイドを一時的に活性化させることも可能とする。彼女の「コンダクター」というコードネームは表向きの意味である戦場を指揮する「指揮者」としての他に、触媒として他者に力を伝える「伝導体」、そして自らの血をもって霧下支部の支部長であるヴァルバトーゼの吸血鬼としてのカを制御する「管理人」という皮肉が込められたトリプルミーニングだが、本人はそれに気付いているものの個人としてのヴァルバトーゼに信頼を置いているため特に気にする様子もなく支部での仕事に務めている。